



長塚古墳(中恵土地区)



すごいpoint

- ・ 東美濃地方で一番大きな前方後円墳だよ。
- ・ 大きな力を持っていた人物が、可児にいたんだね。

長塚古墳、野中古墳、西寺山古墳の3つを合わせて「前波の三ツ塚」と呼んでいるよ。

◎古墳って何？

古墳とは、古墳時代に造られたお墓です。今から約1750年前～約1300年前までの間に多くの古墳が造られました。その時代を古墳時代と呼んでいます。

古墳は、主に土と石を積み重ねて造られています。前方後円墳をはじめ、前方後方墳、円墳、方墳、横穴墓などの種類があります。

◎東美濃地方で一番大きな古墳

可児市では、古墳時代の間に約400基もの古墳が造られたと考えられていますが、その中でも一番大きなものが中恵土にある前方後円墳の長塚古墳です。

長塚古墳は、可児市だけでなく東美濃地方全体でも一番大きな古墳で、全長約72m、高さが7mもあります。

◎長塚古墳は、誰のお墓？

では、この大きな古墳は一体誰のお墓なのでしょう？このような大きさの古墳を造るには、多くの人々の労力が必要です。

長塚古墳からは、銅鏡やガラス製の管玉、石製の腕輪などが見つっています。これは大きな力を持つ人物しか所持できなかった物です。

古墳の大きさや見つかった品物から考えて、長塚古墳は、可児を含む東美濃一帯を支配していたリーダーのお墓と考えられます。



長塚古墳から出土した銅鏡や管玉など

※ 本記事は、「可児市のじまんとほこり2025」から、一部編集を加えて転載したものです。

